

協働事業評価書

事業名「一市民スポーツを目指して～和光市運動場有効利用計画～」

事業主体：和光市体育協会

担当課：スポーツ青少年課

評価者：協働推進懇話会（委員7名）

評価：◎他のモデルとなりうる ○適当である △工夫が必要

評価項目	評価【◎○△】	評価内容	評価【◎○△】	コメント
①事業の評価	◎ 1人 ○ 6人 △ 0人	事業スケジュール	◎ 1人 ○ 6人 △ 0人	<ul style="list-style-type: none"> ■公金を使う事業であることから、コストパフォーマンスには今以上に敏感になるべき。1人あたり幾ら使って、どういう変化が生み出せたのか、そうした視点が必要。 ■集客達成率については、種目によりバラつきがあるが、満足度も含めて概ね良い結果が出たと評価できる。暑さ対策については、今後も検討してほしい。 ■アンケートやヒアリングを実施できたことは良かった。今後も継続してほしい。 ■一つ一つの事業は経験のある体育協会の仕事、という印象。ニッチなスポーツなどに新たに取り組んで、運動未経験者などの開拓に取り組んでいる様子は良かった。 ■一市民スポーツを意識づける取り組みとして意義あることだと思う。たくさんの参加者があり、事業の成果が発揮されている。 ■経験の多い団体であり、市と密に連携しながら事業を進捗していたことを評価したい。
		事業成果	◎ 2人 ○ 5人 △ 0人	
②協働の評価	◎ 1人 ○ 6人 △ 0人	プロセスの積み重ね	◎ 0人 ○ 6人 △ 1人	<ul style="list-style-type: none"> ■協働が必要な事業であることは十分に理解できる。密な連携が今後もカギを握ると考えられる。 ■多くの種目を実施するにあたり、体育協会のもつネットワークを活用できたといえる。 ■事業報告会において、団体と担当課の両者に主体性が見えたのが良かった。 ■より多くの市民にスポーツを楽しんでほしいという趣旨での取り組みで、協働事業を行うということでは、通常の委託事業よりも市民を巻き込んだうえでの成果、みたいなものもほしいが、教室をやって参加人数という内容の報告ではそのあたりが見えない。実際には、今年度は市に委託されて実施が継続しているということなので、成果が感じられたのであろうが、その参加してくれた市民との協働、参加者が今後スポーツを継続していくような取り組みがあったのであれば、そういうことも成果として知りたい、という気がした。協働事業での成果はなにか、というところをさらに深めていただけたら事業もより充実するのではないかと感じた。 ■きっかけづくりという意味では、協働であることが効果を高めたと考えられる。事業の広がり、一市民スポーツの定着に向けては継続的な展開が必要なものと考ええる。 ■地域の人々がスポーツに親しむきっかけづくりと、運動場の有効利用という2つの目的が良い意味で重なり合っているものと思われる。 【提案】 ■今回、多種多様なスポーツを通じて、市民が有効にグラウンドやテニスコートなどを利用できるよう試みを図ったことはすばらしい。今後も同時に年1回程度スポーツを楽しめるようイベントを企画したら良いと思う。
		事業の広がり	◎ 1人 ○ 6人 △ 0人	
		市民満足度の向上	◎ 1人 ○ 5人 △ 1人	
		協働基本原則	◎ 0人 ○ 5人 △ 2人	
		協働の成果	◎ 2人 ○ 4人 △ 1人	
③総合評価 上記①、②以外のコメント (団体や市へのアドバイスを含めて)				<ul style="list-style-type: none"> ■和光市運動場を活用することで、一市民スポーツを目指すという意味では、本事業は市民がスポーツに親しむ「きっかけ」をつくる事業であるので、参加後、クラブに所属したり、新たに運動場利用団体をつくってもらったりすることが重要になる。協働事業の中長期運営計画に沿って、着実にステップアップを図ることを期待したい。 ■行政の姿勢が「委託の代わりにこの事業でやった」みたいになってないか。ちょっと関心の薄さを感じた。行政側でも、通常の委託とは異なる枠組みで役割を担い、協働事業としてこの事業で取り組む意義について理解を深められるといいと感じた。ちゃんと聞けなかったので、決めつけるわけにはいかないが。 ■「委託事業分の会計報告」と「団体の会計報告」について、不明瞭な点が指摘された点については、今後の事業報告のあり方という点からも一度整理が必要と思われる。